

高等部教育目標	
イエス・キリストを通して、人と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心と真摯な態度を備えた人格を培う	
探究型カリキュラム教育/学習目標	
SDGs の達成を目指し、Mastery for Service を体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を育成する/身につける	
探究型カリキュラムにおける 5 つの学びの方針 Five Principles for Learning	
1. 自分事として      2. 社会/実践を通して      3. 知識を大事に      4. ミニケーションを通して      5. 生徒・教員が共に <オーナーシップ/一人称>    <PBL 型/アクション>    <自ら得る知識/高める関心>    <自分/他者のやりとり>    <共に探究する関係性>	
AI の学習目標	
現場で学び、社会的課題への当事者意識を育む 1. 「平和」に関わる様々な社会的課題について、自分の見解を自分の言葉で述べるようになる。 2. 「戦争」と「エネルギー問題」という世界が抱える社会的課題を自分事として捉えようとする姿勢を養う。 3. 社会的課題を解決するアクションを起こすことができる。	

授業日	4/12 (火)	1 学期授業回数	1 回目 / 全 9 回
学習目標	① 探究型授業のねらい、授業の目標、評価方法など、授業の概観を理解する。 ② 平和について学ぶ方法を知る。		
時間 授業内容	1 コマ目 授業のねらい、目標、身につけてほしい力、評価の方法の説明。 2 コマ目 「エマオの途上」の聖書箇所から平和について学ぶ方法を知る。 ・ 忍耐力をもつ。・ 自分のスケールに当てはめて分かってほしい。神のスケールで考える。 ・ 歴史を振り返る。・ 特別な場所か探すのではなく、日常の中に探す。・ 謙った姿勢で学ぶ。		
評価方法	400 字×2 の小論文形式文章を提出させ評価する。 シート 1 要約 今日の授業はどのような学びでしたか。先生の話、友人の話をまとめて下さい。 シート 2 今日、得た学び。 今日の授業を通して、学んだこと、考えさせられたこと、決意したことを書いて下さい。安易な結論は必要ありません。「ますます分からなくなった。」という内容でも構いません。		
宿題指示	400 字×2 の小論文形式文章を次週授業までに提出する。		

授業日	4/19 (火)	1 学期授業回数	2 回目 / 全 9 回
学習目標	① 正しさ（正義・法律など）と優しさ（憐み）について考える。		
時間 授業内容		<p>1 コマ目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「善いサマリア人のたとえ」を読んで、なぜ旅人を見捨てた人と助けた人に分かれたかを考える。</li> <li>・「善いサマリア人のたとえ」が語る優しさの定義を考える。（チーム作り）</li> <li>・「善いサマリア人の法」を学ぶ。</li> </ul> <p>2 コマ目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「大学入試センター試験（国語）」過去問を主体的に評価し、権威に対して懐疑的になれる力を身につける。</li> <li>・宇佐美寛『国語科授業批判』および文部科学省『読解力向上に関する指導資料』を読み、読むことにおける主体性の回復・発揮について考える。</li> </ul>	
評価方法		<p>1 コマ目 400 字×2 の小論文形式文章を提出させ評価する。</p> <p>シート 1 要約</p> <p>今日の授業はどのような学びでしたか。先生の話、友人の話をまとめて下さい。</p> <p>シート 2 今日、得た学び。</p> <p>今日の授業を通して、学んだこと、考えさせられたこと、決意したことを書いて下さい。安易な結論は必要ありません。「ますます分からなくなった。」という内容でも構いません。</p> <p>2 コマ目</p> <p>シート 1 先週配布した課題</p> <p>「大学入試センター試験（国語）」の過去問の解答、および吉野弘の詩「夕焼け」の感想を提出する。</p> <p>シート 2 本授業で配布</p> <p>右半分に本授業を受けて気づいたこと・考えたことを記入して、次々回の授業で提出する。</p>	
宿題指示		<p>1 コマ目 400 字×2 の小論文形式文章を次週授業までに提出する。</p> <p>2 コマ目</p> <p>シート 1 における「夕焼け」の感想で意欲を評価する。（ただしこの授業をまだ一度も受けていない段階での宿題なので、内容のレベルについては評価しない。）</p>	

授業日	4/26 (火)	1 学期授業回数	3 回目 / 全 9 回
学習目標	逆説的 (パロディシカル) な見方ができるようになる (権威・常識を疑うことができるようになる)		
時間 授業内容	45 分	◇「懐疑的」という語彙を習得し、様々な権威・常識に対して懐疑的になれることが目標であると自覚する。	
	45 分	◇ワークシート②に記入しながら、逆説の意味と具体例を確認する。 ◇藤原智美『検索バカ』(朝日新書・2008 年 10 月 10 日)によって、現代人が日常的に当然のように行っている「検索」に対して懐疑的な姿勢を身につける。 ◇マックス・ボルン『原因と偶然の自然哲学』(みすず書房・1984 年 3 月 12 日)によって、必然が偶然の上位に位置づけられるという常識に懐疑的な姿勢を身につける。	
評価方法		◇「逆説・パラドックスの意味を確認する」宿題に対して、複数の辞書を検索して辞書による定義の相違などに目を向ける姿勢があるかどうかを評価基準とする。 ◇各自が探してきた「逆説・パラドックス」が、インターネット等で検索したものでなく、自身の生活・経験の中から導いたものを高く評価する。	
宿題指示		◇各自が持っている辞書で、「逆説」「パラドックス」の意味を確認しておく。 ◇授業で紹介した「急がば回れ」「安物買いの銭失い」以外のパラドックスの具体例を探してくる。	

授業日	5/10 (火)	1 学期授業回数	4 回目 / 全 9 回
学習目標	小論文(論文)作成のための基本的なレトリックの理論を習得する － 探究結果のプレゼンテーション方法の一つとして － 探究のきっかけが身の回りにたくさんあることに気付く		
時間 授業内容		◇ ワークシート③に記入しながら、文章作成のレトリックの理論を学習する。 ◇ レトリックを「内容面」「形式面」の二つの観点によって整理して学習する。 ◇ 最終的に二つの鉄則を確認する。 ① 小論文は結論から逆算して内容・形式を構想する。 ② 小論文はいきなり書き始めることなく、必ず「設計図」を緻密に完成させてから執筆に取り掛かる。 ◇ 歌謡曲「あずさ 2 号」(歌・狩人: 作詞・竜真知子: 作曲・徳倉俊一: 1977 年)の歌詞に含まれている矛盾(「あずさ 2 号」が新宿発の下り)に気付く。 現在では JR のダイヤでは 100%、下りが奇数、上りが偶数となっているが、1977 年当時は JR の中央集権化が確立しておらず、新宿発下り「あずさ 2 号」が存在していたことを確認し、身近な歌謡曲から「中央集権・地方分権」という探究テーマを見つけられることを認識する。 ◇ 身近な出来事から探究テーマを見つけられる具体例を学習する。 ① 渋滞学 西成活裕(東京大学先端科学技術研究センター教授)の著作から ② 沖縄差別・マイノリティ 「ウルトラセブン」の脚本家・金城哲夫の人生から ③ ジェンダー問題 斎藤美奈子の著作『紅一点論』から	
評価方法		◇ 学期末までに応募する小論文コンクールを確定して、その「設計図」に学習したレトリックを用いようとしているかどうかを評価基準とする。	

		◇借り物の探究テーマでなく、自ら見出した探究テーマかどうかを評価基準とする。
宿題指示		◇学期末までに応募する小論文コンクールを確定し、その「設計図」を緻密に書く。 ◇平和に関して、身近なところに探究テーマを見つける。

授業日	5/24 (火)	1 学期授業回数	5 回目 / 全 9 回
学習目標	逆説的 (パラドキシカル) な見方ができるようになる (3 回目授業の確認) (権威・常識を疑うことができるようになる) 知的な思考の到達点として、二元論的思考から脱却できるようになる。		
時間 授業内容		◇ ワークシート④に記入しながら、逆説的な見方ができる意義を再確認する。 ◇ ロラン・バルト『物語の構造分析』(みすず書房・1979年)における「作者の死」という言葉から、権威に対峙する姿勢を意識する。 ◇映画化された『容疑者Xの献身』(東野圭吾)を教材に、映画は作者・東野圭吾の手をに離れており、読者(監督)のものになっていることから、上記「作者の死」を確認する。 ◇二元論的思考方法は分かりやすいが、単純化するあまり複雑な状況を把握する上で障害になることを確認する。 『護憲的改憲論』(松竹伸幸)における「“戦争”と“平和”は対義語なのか」という考え方を通して。	
評価方法		◇自ら二元論を見つけようとしているかという姿勢を評価基準とする。	
宿題指示		◇身の回りにある「二元論的思考・発想」を探してくる。	

授業日	5/31 (火)	1 学期授業回数	6 回目 / 全 9 回																																																
学習目標	①それぞれが選んだミッションスクールの歴史を知る。 ②それぞれのミッションスクールの歴史から平和を実現する方法を考える。																																																		
時間 授業内容		1 コマ目 「ミッションスクールは戦争の時どうしたか」3名の発表。 2 コマ目 「ミッションスクールは戦争の時どうしたか」2名の発表。																																																	
評価方法		<table border="1"> <tbody> <tr> <td>時間</td><td>6.5~7.5</td><td>A</td><td>5</td></tr> <tr> <td></td><td>6~6.5 7.5~8</td><td>B</td><td>3</td></tr> <tr> <td></td><td>6 未満 8 以上</td><td>C</td><td>1</td></tr> <tr> <td>客観的内容</td><td></td><td>A</td><td>15</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>B</td><td>12</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>C</td><td>9</td></tr> <tr> <td>考察</td><td></td><td>A</td><td>15</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>B</td><td>12</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>C</td><td>9</td></tr> <tr> <td>質疑応答</td><td>6~</td><td>A</td><td>5</td></tr> <tr> <td></td><td>4~5</td><td>B</td><td>3</td></tr> <tr> <td></td><td>3 以下</td><td>C</td><td>1</td></tr> </tbody> </table>		時間	6.5~7.5	A	5		6~6.5 7.5~8	B	3		6 未満 8 以上	C	1	客観的内容		A	15			B	12			C	9	考察		A	15			B	12			C	9	質疑応答	6~	A	5		4~5	B	3		3 以下	C	1
時間	6.5~7.5	A	5																																																
	6~6.5 7.5~8	B	3																																																
	6 未満 8 以上	C	1																																																
客観的内容		A	15																																																
		B	12																																																
		C	9																																																
考察		A	15																																																
		B	12																																																
		C	9																																																
質疑応答	6~	A	5																																																
	4~5	B	3																																																
	3 以下	C	1																																																
宿題指示																																																			

授業日	6/7 (火)	1 学期授業回数	7 回目 / 全 9 回																																																
学習目標	①それぞれが選んだミッションスクールの歴史を知る。 ②それぞれのミッションスクールの歴史から平和を実現する方法を考える。																																																		
時間 授業内容		1 コマ目 「ミッションスクールは戦争の時どうしたか」3名の発表。 2 コマ目 「ミッションスクールは戦争の時どうしたか」3名の発表。																																																	
評価方法		<table> <tr> <td>時間</td><td>6.5~7.5</td><td>A</td><td>5</td></tr> <tr> <td></td><td>6~6.5 7.5~8</td><td>B</td><td>3</td></tr> <tr> <td></td><td>6 未満 8 以上</td><td>C</td><td>1</td></tr> <tr> <td>客観的内容</td><td></td><td>A</td><td>15</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>B</td><td>12</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>C</td><td>9</td></tr> <tr> <td>考察</td><td></td><td>A</td><td>15</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>B</td><td>12</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>C</td><td>9</td></tr> <tr> <td>質疑応答</td><td>6~</td><td>A</td><td>5</td></tr> <tr> <td></td><td>4~5</td><td>B</td><td>3</td></tr> <tr> <td></td><td>3 以下</td><td>C</td><td>1</td></tr> </table>		時間	6.5~7.5	A	5		6~6.5 7.5~8	B	3		6 未満 8 以上	C	1	客観的内容		A	15			B	12			C	9	考察		A	15			B	12			C	9	質疑応答	6~	A	5		4~5	B	3		3 以下	C	1
時間	6.5~7.5	A	5																																																
	6~6.5 7.5~8	B	3																																																
	6 未満 8 以上	C	1																																																
客観的内容		A	15																																																
		B	12																																																
		C	9																																																
考察		A	15																																																
		B	12																																																
		C	9																																																
質疑応答	6~	A	5																																																
	4~5	B	3																																																
	3 以下	C	1																																																
宿題指示																																																			

授業日	6/21 (火)	1 学期授業回数	8 回目 / 全 9 回
学習目標	① 前回のプレゼンの振り返りによって自身のプレゼンを磨く。 ② 鎮西学院の歴史を知る。 ③ 生き残った方々がどのような思いで戦後を生きられているのかを知る。		
時間 授業内容		1 コマ目 前回のプレゼンを振り返り、教師からコメントする。 生徒からも他者のプレゼンについてコメントしてもらう。 2 コマ目 鎮西学院の DVD「あの日僕らの夢が消えた」を見た感想を話し合う。 生き残った人は「生きる意味」について何と言っているか話し合う。 戦争を知らない私たちの「生きる意味」とは何かを話し合う。 次週来て頂く鎮西学院宗教総主事鉄口先生への質問をまとめる。	
評価方法		評価はしない。	
宿題指示			

授業日	6/28（火）	1 学期授業回数	9 回目 / 全 9 回
学習目標	① 鎮西学院の歴史を知る。 ② 生き残った方々がどのような思いで戦後を生きられているのかを知る。		
時間 授業内容		1 コマ目 鎮西学院の DVD「光と風の丘へ」を見る。 2 コマ目 鎮西学院宗教総主事鉄口先生から講演を頂く。講演の形態は先週出た質問に答える形。	
評価方法		400 字×2 の小論文形式文章を提出させ評価する。 シート 1 要約 今日の授業はどのような学びでしたか。先生の話、友人の話をまとめて下さい。 シート 2 今日、得た学び。 今日の授業を通して、学んだこと、考えさせられたこと、決意したことを書いて下さい。安易な結論は必要ありません。「ますます分からなくなった。」という内容でも構いません。	
宿題指示		8 月 8 日～10 日に行われるピーススタディ研修旅行でディスカッションをする鎮西学院高等学校ハイワイ部、高校生平和大使への質問を考えてくる。 400 字×2 の小論文形式文章を 7 月 4 日までに提出する。	

高等部教育目標	
イエス・キリストを通して、人と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心と真摯な態度を備えた人格を培う	
探究型カリキュラム教育/学習目標	
SDGs の達成を目指し、Mastery for Service を体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を育成する/身につける	
探究型カリキュラムにおける 5 つの学びの方針 Five Principles for Learning	
1. 自分事として      2. 社会/実践を通して      3. 知識を大事に      4. コミュニケーションを通して      5. 生徒・教員が共に <オーナーシップ/一人称>   <PBL 型/アクション>   <自ら得る知識/高める関心>   <自分/他者のやりとり>   <共に探究する関係性>	
ハンズオンラーニング/ピーススタディの学習目標	
現場で学び、社会的課題への当事者意識を育む 1. 「平和」に関わる様々な社会的課題について、自分の見解を自分の言葉で述べるようになる。 2. 「戦争」と「エネルギー問題」という世界が抱える社会的課題を自分事として捉えようとする姿勢を養う。 3. 社会的課題を解決するアクションを起こすことができる。	

授業日	9/6(火)	2 学期授業回数	1 回目 / 全 10 回	
学習目標	① 「長崎研修旅行で学んだこと」を 7 分という枠の中で発表する。 ② 社会で知られていないことを、人前で語ることができるようになる。 ③ 他者の発表を聞き、自分との考えの違いについて考える。			
時間 授業内容		1 コマ目 「長崎研修旅行から学んだこと」3 名の発表。 2 コマ目 「長崎研修旅行から学んだこと」2 名の発表。		
評価方法	時間	6.5~7.5	A	5
		6~6.5 7.5~8	B	3
		6 未満 8 以上	C	1
	客観的内容		A	15
			B	12
			C	9
	考察		A	15
			B	12
			C	9
	質疑応答	6~	A	5
		4~5	B	3
		3 以下	C	1
宿題指示				

授業日	9/13(火)	2 学期授業回数	2 回目 / 全 10 回		
学習目標	① 「長崎研修旅行で学んだこと」を 7 分という枠の中で発表する。 ② 社会で知られていないことを、人前で語ることができるようになる。 ③ 他者の発表を聞き、自分との考えの違いについて考える。				
時間 授業内容		1 コマ目 「長崎研修旅行から学んだこと」3 名の発表。 2 コマ目 「長崎研修旅行から学んだこと」3 名の発表。			
評価方法	時間	6.5~7.5	A	5	
		6~6.5	7.5~8	B	3
		6 未満	8 以上	C	1
	客観的内容		A	15	
			B	12	
			C	9	
	考察		A	15	
			B	12	
			C	9	
	質疑応答	6~	A	5	
4~5		B	3		
3 以下		C	1		
宿題指示					

授業日	9/20(火)	2 学期授業回数	3 回目 / 全 10 回
学習目標	② 高校生平和大使・平和サポーターと出会い、自分の言葉で平和を語れるようになる。 ②「友だち」であることに捕らわれずに、鋭いディスカッションができるようになる。		
時間 授業内容		1 コマ目 高校生平和大使から、平和活動に携わりたいと思った理由、兵庫県で行っている活動、活動を通して変化したことなどをプレゼンしてもらう。 2 コマ目 「世界で一番平和な国はどこか」というテーマでディスカッションする。	
評価方法	400 字×2 の小論文形式文章を提出させ評価する。 シート1 要約 今日の授業はどのような学びでしたか。先生の話、友人の話をまとめて下さい。 シート2 今日、得た学び。 今日の授業を通して、学んだこと、考えさせられたこと、決意したことを書いて下さい。安易な結論は必要ありません。「ますます分からなくなった。」という内容でも構いません。		
宿題指示	DVD「人間の住んでいる島」を見てくる。		



授業日	9/27(火)	2 学期授業回数	4 回目 / 全 10 回
学習目標	①キング牧師よりも先に非暴力運動を行っていた日本人がいたことを知る。 ②非暴力が無抵抗ではないことを知る。 ③阿波根昌鴻さんの非暴力運動の具体例を知る。		
時間 授業内容		1 コマ目 キング牧師の歩みを振り返る。阿波根昌鴻さんの生涯を学ぶ。 阿波根昌鴻さんの非暴力運動の具体例から、自分自身の非暴力運動について考える。 2 コマ目 次週の質疑応答の準備。（次週は阿波根昌鴻さんの弟子である榎本恵氏が来校）	
評価方法	400 字×2 の小論文形式文章を提出させ評価する。 シート1 要約 今日の授業はどのような学びでしたか。先生の話、友人の話をまとめて下さい。 シート2 今日、得た学び。 今日の授業を通して、学んだこと、考えさせられたこと、決意したことを書いて下さい。安易な結論は必要ありません。「ますます分からなくなった。」という内容でも構いません。		
宿題指示			

授業日	10/4(火)	2 学期授業回数	5 回目 / 全 10 回
学習目標	①キング牧師よりも先に非暴力運動を行っていた日本人がいたことを知る。 ②非暴力が無抵抗ではないことを知る。 ③阿波根昌鴻さんの非暴力運動の具体例を知る。		
時間 授業内容		1 コマ目 阿波根昌鴻さんの弟子である榎本恵氏による講演。 2 コマ目 生徒が司会者となり、質疑応答を行う。	
評価方法	400 字×2 の小論文形式文章を提出させ評価する。 シート1 要約 今日の授業はどのような学びでしたか。先生の話、友人の話をまとめて下さい。 シート2 今日、得た学び。 今日の授業を通して、学んだこと、考えさせられたこと、決意したことを書いて下さい。安易な結論は必要ありません。「ますます分からなくなった。」という内容でも構いません。		
宿題指示			

授業日	10/18(火)	2 学期授業回数	6 回目 / 全 10 回
学習目標	① 逆説的（パラドキシカル）な見方ができるようになる （日常生活の背後にある矛盾・不条理を見抜く）		
時間 授業内容	<p>◇ 前時に講師・榎本恵さんが引用された徳永穂菜さん（沖縄市立山内小学校2年）の詩「こわいをして、へいわがわかった」を教材に、「怖いを知る」＝「日常」ということに気づく。</p> <p>◇ 「沖縄国際大学米軍ヘリコプター墜落事件」（2004年8月13日）を学習し、基地が平和（平凡）な日常生活を脅かすものであることを認識する。</p> <p>◇ 「ピーススタディ」を遠くて抽象的な問題でなく、身近で具体的な問題を考える探究にするため、一旦（米軍）基地問題を離れて、身近な迷惑施設に目を向ける。</p> <p>◇ 迷惑施設（廃棄物関係施設・産業関係施設・人の死に関係する施設など）は一般的に「迷惑」だと認識されているが、同時に「現代社会には必要不可欠で、どこかには立地しなければならないものだけに問題の根は深い」（大原暁『住みたいまちランキングの罠』光文社・2018年3月20日）不条理を理解する。</p> <p>◇ 「必要性は認める。でもうちの近くに造られるのはごめん」住民心理（NIMBY症候群）の矛盾・不条理を理解する。</p> <p>◇ 再び沖縄基地問題に視点を向けて考える。</p>		
評価方法	◇ 本時および次時の授業を参考に、自ら問題を発見してレポートを作成する。		
宿題指示	<p>◇ 探究型授業の最大の目標は「自ら問題を発見する」ことなので、本時および次時の授業について「どこから」「どのような」課題を発見したかを、明確に自覚・表現できるようにする。</p> <p>◇ 複眼的な視野を持つことが重要なので、様々な視点の資料（文献）を引用できたレポートを高く評価することをアナウンスする。</p>		

授業日	10/25(火)	2 学期授業回数	7 回目 / 全 10 回
学習目標	<p>① 自らの探究（レポート）のテーマを授業から発見できるようになる。</p> <p>② 多くの人が平和を望む中、戦争を望む人間がいることを認識する。</p>		
時間 授業内容	<p>◇戦争を望むのはどのような人間か考える。</p> <p>◇軍需産業について学習し理解する。</p> <p>◇世界の「死の商人」について学習し理解する。</p> <p>①「風と共に去りぬ」のバトラーが「死の商人」だったと学習する。 バトラーは、「金儲け」の点にかけても徹底した「哲学」と「モラル」の持ち主である。「俺は金儲けのためなら、北軍、南軍、どっちにでもいい、うんと金をはずむ方に武器弾薬を売るのだ」</p> <p>② 現代の世界の「死の商人」について学習する。</p> <p>③ 日本の歴史上の「死の商人」について学習する。</p> <p>◇現代の日本の軍需産業について学習する。</p> <p>東芝などでは、防衛省陸上自衛隊装備品関係を担当してきた営業幹部を、海外営業セクションに配置換えして、防衛装備品移転三原則に対応する新たな動きも出ている。地对空ミサイル・レーダーなどを開発している電機メーカーの技術水準は、アメリカと肩を並べるまでに達している」</p>		

		<p>(池内了 青井未帆 杉原浩司編『亡国の武器輸出 防衛装備移転三原則は何をもたらすか』合同出版・2017年)</p> <p>◇三菱重工ほど権力と深く結び付き、戦争のたびに儲けてきた企業はない。</p> <p>それは創業以来のDNAとして脈々と受け継がれている。世の中がキナ臭くなる度に、三菱重工がクローズアップされるのはそのためだ。</p> <p>(『週間金曜日』編・『国策防衛企業三菱重工の正体』金曜日・2008年)</p> <p>◇原子カムの存在を認識し、背景について考える。</p>
評価方法	◇ 各自が発見したテーマで作成したレポートで評価するとアナウンスする。	
宿題指示		

授業日	11/8(火)	2 学期授業回数	8 回目 / 全 10 回
学習目標	① アンネ・フランク、アウシュビッツ、ホロコーストについて知る。 ② ユダヤ人迫害の歴史を知る。 ③ アンネの言葉から、平和を構築する方法について考える。		
時間 授業内容		1 コマ目 「アンネの日記」を読む。忙しい毎日の中で、時間を聖別し、アンネの世界に入る。 2 コマ目 「アンネの日記」の中で心に残ったアンネの言葉を発表。 次週の質疑応答の準備。（次週はアンネのバラの教会へフィールドワーク予定）	
評価方法	400 字×2 の小論文形式文章を提出させ評価する。 シート1 要約 今日の授業はどのような学びでしたか。先生の話、友人の話をまとめて下さい。 シート2 今日、得た学び。 今日の授業を通して、学んだこと、考えさせられたこと、決意したことを書いて下さい。安易な結論は必要ありません。「ますます分からなくなった。」という内容でも構いません。		
宿題指示			

授業日	11/22(火)	2 学期授業回数	9 回目 / 全 10 回
学習目標	① アンネ・フランク、アウシュビッツ、ホロコーストについて知る。 ② ユダヤ人迫害の歴史を知る。 ③ アンネの言葉から、平和を構築する方法について考える。		
時間 授業内容		1 コマ目 アンネのバラの教会・坂本誠治牧師からの講演。 2 コマ目 質疑応答の準備。アンネ・フランクの遺品などを見学。	
評価方法	400 字×2 の小論文形式文章を提出させ評価する。 シート1 要約 今日の授業はどのような学びでしたか。先生の話、友人の話をまとめて下さい。 シート2 今日、得た学び。 今日の授業を通して、学んだこと、考えさせられたこと、決意したことを書いて下さい。安易な結論は必要		

	ありません。「ますます分からなくなった。」という内容でも構いません。
宿題指示	

授業日	11/29(火)	2 学期授業回数	10 回目 / 全 10 回
学習目標	① 探究の集い（12 月 17 日）で発表するプレゼンを行い、ブラッシュアップをする。 ② 他者の発表を聞き、自分との考えの違いについて考える。		
時間 授業内容		1 コマ目 探究の集い（12 月 17 日）で発表するプレゼン。その後、相互評価。 2 コマ目 成果発表会（2 月 14 日）に向けての準備。	
評価方法			
宿題指示			

高等部教育目標	
イエス・キリストを通して、人と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心と真摯な態度を備えた人格を培う	
探究型カリキュラム教育/学習目標	
SDGs の達成を目指し、Mastery for Service を体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を育成する/身につける	
探究型カリキュラムにおける 5 つの学びの方針 Five Principles for Learning	
1. 自分事として      2. 社会/実践を通して      3. 知識を大事に      4. コミュニケーションを通して      5. 生徒・教員が共に <オーナーシップ/一人称>    <PBL 型/アクション>    <自ら得る知識/高める関心>    <自分/他者のやりとり>    <共に探究する関係性>	
ハンズオンラーニング/ピーススタディの学習目標	
現場で学び、社会的課題への当事者意識を育む 1. 「平和」に関わる様々な社会的課題について、自分の見解を自分の言葉で述べるができるようになる。 2. 「戦争」と「エネルギー問題」という世界が抱える社会的課題を自分事として捉えようとする姿勢を養う。 3. 社会的課題を解決するアクションを起こすことができる。	

授業日	1/17(火)	3 学期授業回数	1 回目 / 全 6 回
学習目標	①平和を構築する方法を真正面からではなく違った視点から考えてみる。 ②阪神淡路大震災が起こった日に、「写真洗浄」という作業を通して、28 年前に思いをはせる。		
時間 授業内容		1 コマ目 被災支援ボランティア団体「おたがいさまプロジェクト」代表 大竹 修 氏による写真洗浄の取り組みに関する講演。 2 コマ目 被災地よりお預かりした写真洗浄体験をする。	
評価方法	400 字×2 の小論文形式文章を提出させ評価する。 シート1 要約 今日の授業はどのような学びでしたか。先生の話、友人の話をまとめて下さい。 シート2 今日、得た学び。 今日の授業を通して、学んだこと、考えさせられたこと、決意したことを書いて下さい。安易な結論は必要ありません。「ますます分からなくなった。」という内容でも構いません。		
宿題指示			

授業日	1/24(火)	3 学期授業回数	2 回目 / 全 6 回
学習目標	複数紙の新聞記事（社説・同一テーマについて論じているもの）の相違を見抜き、クリティカルに論じることができるようになる。[「ピーススタディ」の最終課題として、3 学年 2 学期末に新聞記事（1 面トップ・コラム・社説）を執筆する（書く）が、その基礎としてまず読解・分析する（読む）力をつけるため。]		
時間 授業内容		◇ 前時に配布した全国紙 3 紙（読売・朝日・毎日）の、2022 年 12 月 17 日付朝刊「社説」（読売「安保 3 文書改定 国力を結集し防衛体制強めよ」・朝日「安保政策の大転換	

		『平和構築』欠く力への傾斜」・毎日「安保戦略の閣議決定 国民的議論なき大転換だ」）について学習者が提出した比較 ・分析を指導者が整理した資料を確認する。 ◇他の学習者の比較・分析を検討し、議論しながら、相互に社説に対する見方を深める。 ◇主張がほぼ同じでも、社によって根拠（背景となるものの見方・考え方）が異なることを認識できるようになる。 ◇各紙社説が自らの主張を読者に浸透させるためのレトリック（論理構造・使用語彙など）を認識し、半年後に執筆する新聞に生かせるようにする。
評価方法	◇本時の発言において、他の学習者の認識方法（ものの見方・考え方）を意識しながら自らの比較・分析を深めているか、指導者が判断する。 ◇本時の発言において、これまで殆ど意識することのなかったレトリックに対して言及しているか、指導者が判断する。	
宿題指示	◇6紙のコラム（読売「編集手帳」・朝日「天声人語」・毎日「余録」・産経「産経抄」・日本経済「春秋」・神戸「正平調」）を配布し、本時の社説の分析・比較を参考に、比較・分析する。	

授業日	1/31(火)	3 学期授業回数	3 回目 / 全 6 回
学習目標	複数紙の新聞記事（コラム）の相違を見抜いて、クリティカルに論じることができるようになる。 [「ピーススタディ」の最終課題として、3 学年 2 学期末に新聞記事（1 面トップ・コラム・社説）を執筆する（書く）が、その基礎としてまず読解・分析する（読む）力をつけるため。特に本時はレトリックを有効に用いる「コラム」で、自身もレトリックを駆使できるようになることを意識する。]		
時間 授業内容		（新聞記事の比較・分析なので、基本的には前時と同様である。） ◇前時に配布した 6 紙（読売・朝日・毎日・産経・日本経済・神戸）の、2023 年 1 月 1 日付朝刊 コラム（編集手帳・天声人語・余録・産経抄・春秋・正平調）について学習者が提出した 比較・分析を指導者が整理した資料を確認する。 ◇他の学習者の比較・分析を検討し議論して、相互にコラムに対する見方を深める。 ◇コラム独特の多様なレトリック（比喩・倒置法など）の有効性を認識する。 ◇各紙コラムが「元旦」をどのように表現しているか、筆者のものの見方・考え方にまで目 を向ける。	
評価方法	◇本時の発言において、他の学習者の認識方法（ものの見方・考え方）を意識しながら自らの比較・分析を深め ているか、指導者が判断する。 ◇本時の発言において、これまで殆ど意識することのなかったレトリックに対して言及しているか、指導者が 判断する。		
宿題指示	◇前時と本時の授業をふまえて、半年後に執筆する新聞記事について、自分はどの新聞の立場で取り組むか決 めて、その理由とともに提出する。		

授業日	2/7(火)	3 学期授業回数	4 回目 / 全 6 回
学習目標	① 2 月 14 日に行われるピアティーチングの準備。 ② 最も効果的なプレゼンテーションとは何かを話し合う。		
時間 授業内容		1 コマ目・2 コマ目ともピアティーチングの準備。 A チーム 平和学習は義務か権利か	

		B チーム 収容所の生涯～アンネの日記を通して～
評価方法	特になし。	
宿題指示		

授業日	2/14(火)	3 学期授業回数	5 回目 / 全 6 回
学習目標	① それぞれのグループのテーマに従って、一年間の学びを発表する。 ② 最も効果的なプレゼンテーションとは何かを意識して発表する。		
時間 授業内容		AI/グローバルスタディのピアティーチングに参加する。 2 年ピーススタディは以下を発表する。 A チーム 平和学習は義務か権利か B チーム 収容所の生涯～アンネの日記を通して～	
評価方法	今回は個人ではなく各チーム全員を同じ評価にする。40 点満点。		
宿題指示			

授業日	2/21(火)	3 学期授業回数	6 回目 / 全 6 回
学習目標	① 3 年ハンズオンの学会発表を聞き、プレゼンテーションの作り方を学ぶ。 ② 前回の自分たちのプレゼンテーションと比較し振り返る。		
時間 授業内容		1 コマ目 3 年ハンズオンの学会発表を聞き、質疑応答をする。 2 コマ目 前回の自分たちのプレゼンテーションと比較し振り返る。自分たちのプレゼンテーションのうまくいかなかったところを細かに分析する。	
評価方法	400 字×2 の小論文形式文章を提出させ評価する。 シート1 要約 今日の授業はどのような学びでしたか。先生の話、友人の話をまとめて下さい。 シート2 今日、得た学び。 今日の授業を通して、学んだこと、考えさせられたこと、決意したことを書いて下さい。安易な結論は必要ありません。「ますます分からなくなった。」という内容でも構いません。		
宿題指示			